

平成20年4月16日

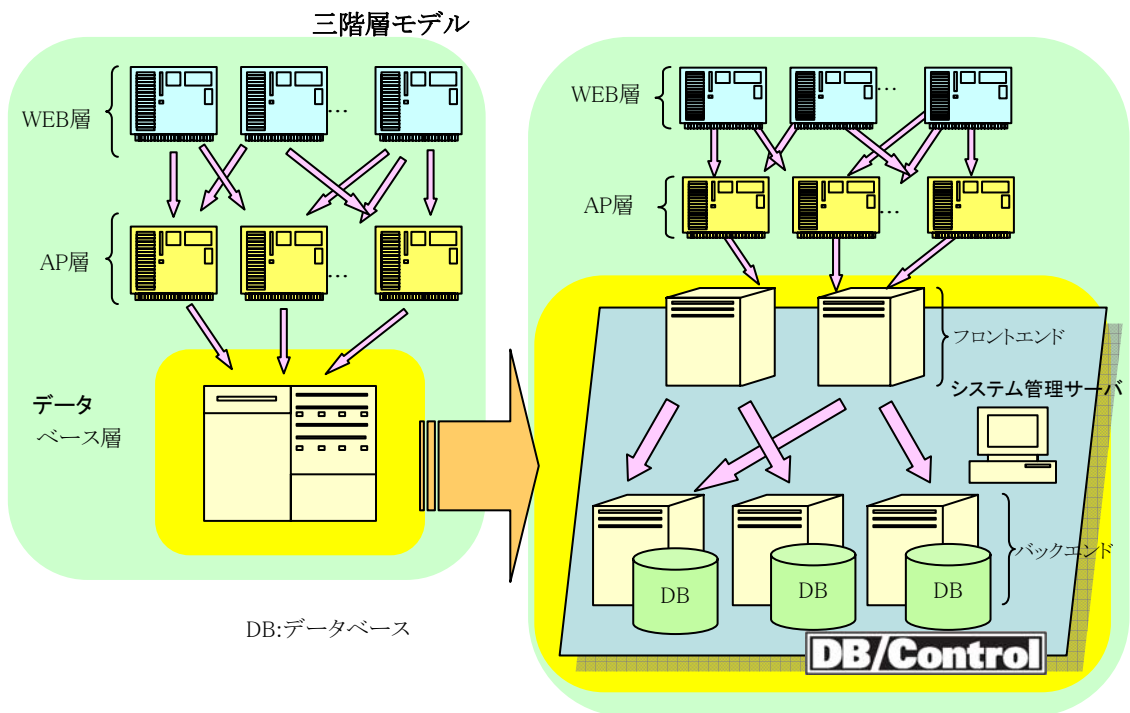
【報道関係者各位】

データアクセス株式会社(代表取締役:香西 省治、本社:新宿区西新宿 6-16-6、2004年12月設立、以下当社は、自社開発の DBMS^(※1)クラスタリング^(※2)・ソフトウェア「DB/Control(ディービー・コントロール)」の販売方法として、新たに月単位のライセンス使用とカスタマーサポートを組み合わせた月額制の料金プランでの販売を開始しました。

「ディービー・コントロール」は、オープン・ソース・ソフトウェア(OSS)^(※3)の DBMS を使用して、高い検索性能や高可用性(HighAvailability)^(※4)を要するデータベースシステムを構築するソフトウェアです。当社が開発した独自技術により、3階層モデル^(※5)のデータベース層をフロントエンドとバックエンドの2階層に分け、データベース検索要求への高速なレスポンスと、データベースシステムの無中断を実現します。OSS の DBMS を商用利用する場合に懸念されてきた拡張性や耐故障性の問題を解決し、導入及び運用コストの両方(TCO)の削減に貢献します。「ディービー・コントロール」は、バックエンド(データベースサーバ)用とフロントエンド用、システム管理用のソフトウェアで構成され、RedHatEnterprise 4 または 5、Solaris10 上で動作します。DBMS として PostgreSQL^(※6)と MySQL^(※7)に対応しています。VMware 等のコンピュータ仮想化ソフトウェア上のゲストOSの環境でも動作し、可用性の高いデータベースシステムを構築することができます。

「ディービー・コントロール」の販売については従来、ライセンス販売と年間カスタマーサポートの料金プランのみでしたが、この度、導入初期費用削減や、データセンタ事業者様、ASP/SaaS 事業者様等での利用拡大を狙いに、月単位のライセンス使用とカスタマーサポートを組み合わせた月額制の料金プランを追加しました。月額 9.8 万円から。しかも、連続利用期間が 20 ヶ月目からはライセンス使用分を大幅に割引いた月額料金となる料金プランです。

当社または丸紅情報システムズ株式会社で販売いたします。



「ディービー・コントロール」は、バックエンド間で同一内容のデータベース複製を保持するいわゆるレプリケータ^(※8)として動作します。フロントエンドは、バックエンド接続についてのロードバランシングを行う負荷分散機能を実現し、AP(アプリケーション)層からのデータベース接続要求を最適なバックエンドに割当てます。各バックエンドは、フロントエンドから受信したデータベース処理要求を分析し、データベースの変更を伴わない検索系の処理要求であれば、バックエンド上のデータベースを用いて処理します。一方、フロントエンドから受信したデータベース処理要求がデータベースの変更を伴う更新系の処理要求の場合は、他のバックエンド上でも同一の処理要求を実行し、全てのバックエンドの内容を一致させます。また、故障が発生したバックエンドは自動的にシステムから切離され、残りのサーバでサービスを継続します。これらの機能により、データベースシステムの拡張性と耐故障性の課題を解決し、TCO 削減に貢献します。

主な特長

- ・ 検索処理要求への高い応答性能やサービス無中断等の高可用性を要するデータベースシステムを安価に構築します。
- ・ ミドルウェアとして動作し、既存システムにも簡単に導入できます。
- ・ web ブラウザ GUI でシステム監視制御や、サービス無中断でサーバ増減設が可能。

※DB/Control の詳細は、当社ホームページ(<http://www.dacc.jp>)をご覧ください。

【データアクセス株式会社について】

データアクセス株式会社(資本金 1,000 万円)は、DBMS クラスターリング・ソフトウェア DB/Control の開発・販売と DB/Control の利用を含むネットワークビジネスコンサルティング事業、システム設計・開発事業を展開しています。なお、DB/Control の研究開発事業計画は、東京都の「中小企業の創造的事業活動の促進に関する臨時措置法」(通称、創造法)の認定を取得し(認証番号 3713号)、さらに(財)東京都中小企業振興公社の平成 18 年度経営・技術活性化助成事業の創造助成事業対象(No.4023)となっております。

- *1 DBMS(DataBase Management System) :データベース管理システム
データベースを管理し、データに対するアクセス要求に応えるソフトウェア。データの形式や利用手順を標準化し、特定のアプリケーションソフトウェアから独立させることができる。
- *2 クラスターリング(clustering)
複数のコンピュータを相互に接続し、ユーザや他のコンピュータに対して全体であたかも 1 台のコンピュータであるかのように振舞わせる技術。システムを構成する一部のサーバが停止してもシステム全体が止まることはなく、処理を続行したまま修理や交換が行える。
- *3 OSS(Open Source Software) (オープン・ソース・ソフトウェア)
ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを、インターネットなどを通じて無償で公開し、誰でもそのソフトウェアの改良、再配布が行なえるようにすること。また、そのようなソフトウェア。
- *4 高可用性(HighAvailability ハイアベイラビリティ)
可用性とはシステムの壊れにくさのこと。故障が発生しにくく、故障が発生しても復旧に要する時間が短いほど可用性が高い(高可用性)と言う。具体的に高可用性には、サービス時間中のシステム無停止や無中断運転等、故障発生時を含めサービスを継続できることが要求される。

- *5 3階層モデル (three tier model)別名:3ティア・モデル
主としてインターネット、ビジネスにおけるサーバ・システム構築法の1種で、サーバを用途や稼働させるアプリケーションで分類し、3階層に分けてモデル化したもの。Web層、AP(アプリケーション)層、データベース層の3階層に分けることで、システム全体の拡張性を高めることが可能となる。
- *6 PostgreSQL(ポストグレエスキューエルまたはポストGRES)
カリフォルニア大学バークレー校で開発された POSTGRES をベースにしたオブジェクトリレーショナルデータベース管理システム(ORDBMS)。オープン・ソース・ソフトウェア。
- *7 MySQL(マイエスキューエル)
MySQLとは、1995年にフィンランドの Michael Widenius によって開発されたリレーショナルデータベースを管理するソフトウェアの名称。オープン・ソース・ソフトウェア。高速性と堅牢性に定評がある。バージョン 5.0 で大きく機能追加された。
- *8 レプリケータ(Replicator)
複数のデータベースサーバ上でデータの複製を行うソフトウェア。DB/Control はレプリケータとして動作し、任意のバックエンドサーバでの変更を残りのバックエンドサーバに反映させることができる。

※記載されている全ての製品名は各社の商標です。

■本件お問い合わせ先

・データアクセス株式会社

代表取締役 香西省治(こうさい しょうじ)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-47-3 「17 山京ビル」8 階

TEL 03-6802-5327

E-mail dbcontrol@dacc.jp

URL <http://www.dacc.jp>

・丸紅情報システムズ株式会社

プラットフォーム&ネットワーク事業本部

デジタルマーケティング営業部

担当:小浜義之(こはま よしゆき)

東京 TEL 03-5778-8712